

再評価結果（平成30年度）

担当課：道路整備課
担当課長名：土井 正吉

事業名	主要地方道 鳴門公園線 土佐泊浦～三ツ石工区	事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦 至：徳島県鳴門市鳴門町三ツ石			延長	1.6km

事業概要

主要地方道鳴門公園線は、国道11号から鳴門公園へ至る延長約9kmの道路である。当路線は従来から鳴門公園に向かう県内外の観光客に利用され、当工区整備による観光客の利便性向上及び地域の開発振興に寄与するほか、緊急輸送道路である神戸淡路鳴門自動車道鳴門北ICから国道11号に直接接続することで緊急輸送道路ネットワークの強化を図ることを目的とし、バイパス方式による整備を行うものである

平成16年度事業化	-	平成18年度用地着手	平成24年度工事着手
全体事業費	43億円	事業進捗率	18.9%
計画交通量	9,300台/日	供用済延長	0km

費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 25.2/36.3億円 事業費: 24.9/36.0億円 維持管理費: 0.4/0.4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 80.4/80.4億円 走行時間短縮便益: 73.1/73.1億円 走行経費減少便益: 5.6/5.6億円 交通事故減少便益: 1.6/1.6億円	基準年: 平成30年
	B/C (残事業)	3.2			

感度分析の結果	【事業全体】交通量: B/C=1.99~2.43 (交通量±10%)	【残事業】交通量: B/C=2.87~3.50 (交通量±10%)
	事業費: B/C=2.07~2.38 (事業費±10%)	事業費: B/C=2.90~3.53 (事業費±10%)
	事業期間: B/C=2.11~2.32 (事業期間±1年)	事業期間: B/C=3.04~3.34 (事業期間±1年)

事業の効果等

- 国土・地域ネットワークの構築：神戸淡路鳴門自動車道鳴門北ICと国道11号とへのアクセス性の向上。
- 災害への備え：緊急輸送道路ネットワークの強化による地域防災力の向上。
- 周辺地域の効果：国道と周辺観光施設とのアクセス性向上による周辺道路の渋滞緩和、観光産業の活性化。

関係する地方公共団体等の意見

- 鳴門市より、積極的に事業促進に協力するため、早期整備を求める要望がある。

前回再評価時より今回再評価実施までの周辺環境変化等

- 平成27年3月：「四国横断自動車道 鳴門JCT～徳島IC」の約11kmが供用。
- 平成30年度内に「高松自動車道 さぬき三木～鳴門IC」の4車線化完成予定。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- 平成29年度までに、用地進捗率55%、事業進捗率19%となっている。
- 残事業は、残用地の取得及びトンネル等を含むバイパス区間全域における道路構造物の整備。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- 起点側から市道土佐泊浦黒山三ツ石線までの約500mの区間を暫定供用するため、黒山、大谷地区を優先して用地交渉を行ってきたが、両地区での進捗の目処が立ったことから、残る三ツ石工区における用地取得を推進するとともに、工事の進捗を図り、平成37年度(2035年)内の暫定供用、平成42年度(2030年)内の完成供用を目指す。

施工の構造や工法の変更等

- 2段階での暫定2車線供用を行うことにより、事業効果の早期発現を図る。

対応方針

事業継続

対応方針の決定理由

- 以上の事業効果等を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。